

ゆっくるも通信

令和6年 6月26日 第7号

留萌市教育委員会

教育支援センター「ゆっくるも」

「ゆっくるも農園」農業体験学習！

留萌市教育支援センター設置2年目となる今年度は、学校に行けない子どもたちにも様々な活動が体験できるよう、いくつかの新規の体験活動を考えています。その一つ目として、今年度から「ゆっくるも農園」農業体験学習を実施することとしました。農業体験を通して食物を生産する喜びや土と親しむ経験をしてもらうこと、また、秋には収穫した作物を使った調理実習を行って、収穫の喜びを味わわせたいと考えて実施しました。

第1回目の活動“種、苗植え活動”は、5月31日（金）に実施しました。作物を栽培する場所として、留萌市市民農園（東雲町3丁目）の一面をお借りしました。先ずは指導員と子どもたちで剣先スコップを使って畑興しから始めました。土が固くて大変苦労しましたが、留萌市教育委員会の方々にもお手伝いをいただき、何とか畑興しは終了。その後は、みんなで種や苗植えを行います。今回栽培を行う作物は、じゃがいも・さつまいも・玉ねぎ・枝豆・ニンジン・ミニトマトです。枝豆とニンジンは種から植えました。みんなで協力をして、準備していたすべての苗と種を植え終えて、みんなでたくさんの水をあげて終了！



これから月に1～2回の草取りを兼ねて食物の生育状況を確認し、秋の収穫時期を迎えたら、採れた野菜を使ってカレーライスや焼き芋を作り、みんなで食べたいと思っています。たくさんの作物が実ればいいなあと願っているところです。

今年度は、今回の農業体験の他にもいくつか新規の体験活動やレク活動を企画しています。不登校支援は、登校だけが目的ではありません。心が元気になること、出かけたいところへ行くこと、やりたいことができるようになることなども目指しています。そのためにも、「ゆっくるも」支援室に閉じこもることなく、様々な体験を通して「楽しかった！」「面白かった！」という思いを積み重ねさせてあげたいと思っています。



■ 学校に行きたくても行けない子どもたちのことについて、教育支援センター「ゆっくるも」にいつでもご相談ください。

（TEL 090-9005-5338）

不登校の「9タイプ」について

留萌市教育支援センター「ゆっくるも」では、学校に行きたくても行けない子どもたちの、家でも学校でもない「第3の居場所」としての機能を果たすとともに、一人一人の様態に応じた「学校復帰」を目指す支援も併せて行っています。「学校復帰」のためには、その子がどうして学校に行けなくなったのか、そのきっかけと原因は何だったのか、学校に行けなくなってからどれくらい経っているのか、現在の状況は…？などを考慮し、それぞれの実態に沿って対応方法を変えていく必要があります。先ずは、その子の不登校の今の状況はどのようなものなのかを押さえておく必要があります。不登校教育研究所の青田進氏がその著書の中で、不登校を次の9つのタイプに分け、それに沿って状況を整理し適切な支援を行っていくことが大切であると述べています。

○右の9タイプのうち、当該児童生徒はどのタイプに当てはまるのか（どれに近い）を考察し、それぞれの状況を整理しておくことが必要です。

○そして、学校に行けない子どもたちが抱えている不安を知ること、その子が何を考えているのかがわかってくるということです。

→友だちの目が怖い
→親のプレッシャー
→勉強が遅れている
→先生への不安
→将来への不安

○こうした不安を解消してあげて“いつでもやり直せる！”という希望の光が見えるように導いてあげること。（不登校が長期になればなるほど、その子の不安の解消には時間がかかるようです…）

○ 不登校の9タイプ ○

- ①朝起きない型（起立性調節障害、睡眠障害、昼夜逆転）
 - ・このタイプは他のタイプと重複している場合も多い
- ②体調不良型（頭痛、腹痛、吐き気）
 - ・共通しているのは神経過敏（＝ストレス性＝心因性）
- ③引きこもり型
 - ・問題は、家族とも顔を合わせられなくなっていること
- ④勉強遅れ型
 - ・学習に追いつけない→それがきっかけで不登校に
- ⑤学校トラブル型
 - ・いじめ、からかい、いやがらせ、無視
 - ・人間関係トラブル（仲間はずれ、部活等でのトラブル）
 - ・先生とのトラブル
- ⑥現実逃避・依存型（ゲーム、スマホ）
 - ・ストレスの強い現実から逃げてゲーム中毒、スマホ依存に。
→無理に取り上げると逆効果も。
- ⑦親子関係型（親への依存、家庭内暴力）
 - ・親への依存（幼児返り）→親にひっついて離れない
 - ・家庭内暴力→子どもが親に暴力を振るうケースが増えている
 - ・無関心→子どもの不登校に関わらない父親が多いそうです…
- ⑧精神不安定型（対人恐怖症・うつ）
 - ・心の病気に近い状態まで追い詰められて学校へ行けない
→薬物治療ですごく元気な状態になる子もいるが、薬が体質に合わず副作用で健康状態が維持できなくなってしまう場合も。
- ⑨病気・障害型（軽度発達障害・ADHD・LD・自閉症）
 - ・グレーゾーンにいる子もいる。複数の病院で検査することも。

不安が解消されないままに「再登校」の働きかけをしても、結局はまた学校に行けない状態に戻ってしまいます。逆に「また学校に行けなくなった」という経験がその子から学校をさらに遠ざけてしまうこともあります。先ずは子どもの現状をよく整理し、その子の不安は何かを探ること。そしてその不安を解消するため、学校や保護者の方々と連携しながら今後も取り組んでいきたいと考えています。

（参考文献・青田進氏著「不登校は9タイプ：不登校解決の7ステージと不登校の抱える6つの不安心理の説明書」）

